

第 101 回大腸癌研究会

遺伝性大腸癌診療ガイドライン作成委員会 議事録

- 日時：令和 2024 年 7 月 11 日（木）13：00-13:30
- 場所：名古屋コンベンションホール 4 階中会議室 408
- ハイブリッド開催（会場＋Web）
- 出席者（五十音順、敬称略、* Web 参加）：
〔委員長〕田中屋宏爾、〔委員〕秋山泰樹、石丸 啓、岡本耕一*、隈元謙介、坂元 慧*、重安邦俊、嶋本有策*、下平秀樹*、 関根茂樹、高雄暁成*、高雄美里、竹内洋司*、千野晶子、張 萌琳*、土井 悟*、中島 健、中山佳子*、檜井孝夫、平田敬治、藤吉健司、堀松高博*、三口真司、水内祐介、宮倉安幸、武藤倫弘*、山口達郎、山田真善、吉岡貴裕、〔アドバイザー〕富田尚裕、石田秀行、〔その他の参加者〕愛洲尚哉、石川敏昭*、稲葉小春（金原出版）、上田結奈、奥川喜永、片山晴一（金原出版）、河村 英恭、鈴木陽三、高橋円広、徳永卓哉、長谷川博俊*、宮北清__、母里淑子、山田成人
〔欠席者〕川崎優子、小峰啓吾、柴田良子、高見澤康之、田辺記子、谷口文崇、中守咲子、長寄寿矢、蓮見壽史、阪埜浩司、増田健太
- 報告・審議事項
 1. 前回議事録 委員長から報告があった。
 2. 委員名簿の改訂 委員長から移動に伴う所属の修正について報告があった。 資料 1
 3. 2024 年前半会計報告 委員長から英語版を投稿予定で、今後、校正、投稿料、図表転載料が見込まれるとの報告があった。
 4. ガイドラインの発行部数 資料 2
委員長から 2024 年版が 7 月 11 日大腸癌研究会学術集会会場で先行販売されたことの報告があった。また、過去のガイドラインの販売部数についても報告があった。
 5. 外部評価の結果概要と今後の課題 資料 3
2020 年版と比べ、外部評価の総合点は改善したが、適用可能性が今後の課題である。
 6. 今後のスケジュール 2025 年に英語版の公開を目標とする。
 7. 今後のガイドラインのありかた 2024 年版の次のガイドラインをどのような構成で作成すべきかについて、今後議論を深めていくこととなった。

文責：田中屋宏爾

資料1 委員名簿改訂（2024年6月30日）

氏名	施設名称・科名
隈元謙介	香川大学医学部 <u>ゲノム医科学・遺伝医学</u>
関根茂樹	<u>慶應義塾大学医学部病理学教室</u>
張 萌琳	<u>東京医科大学消化器内視鏡学</u>
中島 健	<u>大阪国際がんセンター遺伝子診療部 遺伝性診療科</u>

資料2 遺伝性大腸癌診療ガイドラインの販売部数

『遺伝性大腸癌診療ガイドライン 2020年版』（2020年7月10日発行）

・販売部数：約 8,500 部 ・電子版販売部数：約 140 部

『遺伝性大腸癌診療ガイドライン 2016年版』（2016年11月22日発行）

・販売部数：約 4,000 部

『遺伝性大腸癌診療ガイドライン 2012年版』（2012年7月6日発行）

・販売部数：約 3,300 部

資料3 外部評価の結果

AGREE II 日本語訳（2022年9月改訂）を用い、6領域23項目と全体評価2項目を評価

	評点 (%)	
年版	2020	2024
領域1 対象と目的	86.5	94.4
領域2 利害関係者の参加	82.5	87.5
領域3 作成の厳密さ	86.9	80.6
領域4 提示の明確さ	80.2	80.6
領域5 適用可能性	63.5	67.7
領域6 編集の独立性	96.4	93.8
獲得評点の平均（最高7点、最低1点）	5.6	6.5